

令和 5 年度中期運営計画の評価（機関評価）結果

評価年月日：令和 5 年 7 月 21 日

1 試験研究

【項目別の実績値及び評価結果】（評価委員数 9 名）

重点推進事項名と指標名	目標値 (/年)	実績値 (R4 年度)	総合評価	各評価人数（人）			
				A A	A	B	C
① 農産物のブランド力向上に繋がる新品種・新技術の開発 指標名：所得を 10%以上向上できる研究成果数	3 成果	6 成果	A	1	8	0	0
② センシングや人口知能等先端技術の利活用による生産性向上技術の開発 指標名：生産性向上により売上 1 億円の達成が可能な研究成果数	1 成果	2 成果					
③ 持続可能な農業及び気候変動に対応した新技術の開発 指標名：持続可能な農業や気候変動に対応した研究成果数	3 成果	4 成果					

【主な意見】

- ・試験研究については、いずれの重点推進事項とも目標値を上回る「普及に移す成果」が出ており、着実な取組みが展開されていると評価できる。
- ・今後も一層のスピード感をもって研究を進めるため、課題化に当たっては、既存の成果を精査しオリジナルな新しい視点を整理してほしい。

2 試験研究以外の取組

【項目別の実績値及び評価結果】（評価委員数 9名）

重点推進事項名と指標名	目標値 (/年)	実績値 (R4 年度)	総合評価	各評価人数（人）			
				A A	A	B	C
① 成果の普及活用促進 指標名：普及目標を達成した「普及に移す成果」数	7 成果	5 成果	B	0	4	5	0
② 広報・情報提供 指標名：研究成果に関するプレスリリース数	7 件	5 件	B	0	2	7	0
③ 他機関との連携 指標名：外部機関との共同研究割合	30%	32%	A	0	9	0	0
④ 研究予算の確保 指標名：戦略的な予算を用いた新規研究課題数	10 課題	8 課題	B	0	3	6	0
⑤ 内部人財育成 指標名：学会等への論文投稿数	20 報	19 報	A	0	9	0	0

【主な意見】

- ・普及目標を達成した5つの「普及に移す成果」については、実施率や栽培面積の実績が目標値をクリアし、また、目標には届かなかったものの4つの成果についても、実績値が目標値の80%を超えている点からみて、地域への貢献度は高いと評価できる。
- ・プレスリリースに関しては、目標値を下回り物足りないものの、新聞、テレビ以外にも動画配信、雑誌等に取り上げられた例もあり、幅広く見た場合には評価できる。注目すべきは、令和5年度からは情報提供スケジュールを年度当初に設定するという意欲的な姿勢を表明しており、今後に期待したい。
- ・外部機関との共同研究割合は目標値に達しており、一定程度共同研究を進めるといった姿勢が定着していると評価できる。他機関との連携を一層強化するためには、内部人材の育成が必要不可欠であり、研究者として独り立ちできるようなシステムの構築に努めて貰いたい。
- ・新規課題は目標に近い実績をあげており、評価できる。不採択となった課題についても現場ニーズが大きいものは、よりブラッシュアップして課題化に取り組んでほしい。
- ・論文投稿数については目標値に概ね達し、前年度から伸びている点などから、研究者の資質向上の取組が実りつつあると評価できる。